



2026年8月11日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

9,991万kW

15時30分、99,914 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,069万kW

11時30分、40,688 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

287万kW

17時、2,873 MW

◇ 再エネ最大需要比

53.8%

11時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

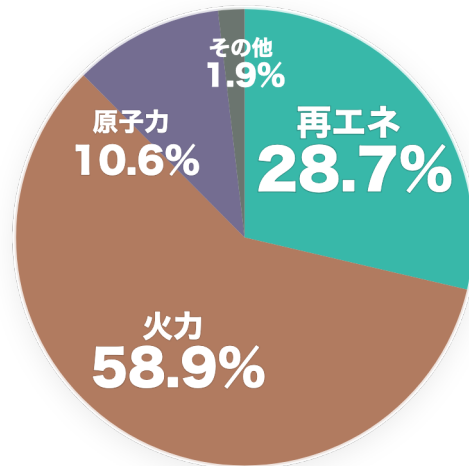
東京

133 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

112 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 51.3%

40.1 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

77.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に3,219万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで51.3%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	28.7%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	618 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,155 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	53.8%	11時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	77.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	51.3%	40.1	0.0	送電 4.4
東北	32.1%	94.8	0.0	送電 112
東京	16.6%	92.6	0.0	受電 133
中部	40.1%	103	0.0	受電 53.0
北陸	36.5%	25.6	0.0	送電 7.9
関西	22.2%	70.5	0.0	受電 43.2
中国	33.9%	58.9	0.0	送電 21.2
四国	28.5%	31.1	0.0	送電 43.7
九州	36.8%	98.4	0.0	送電 20.5
沖縄	10.6%	3.2	0.0	—



2026年8月11日の供給実績

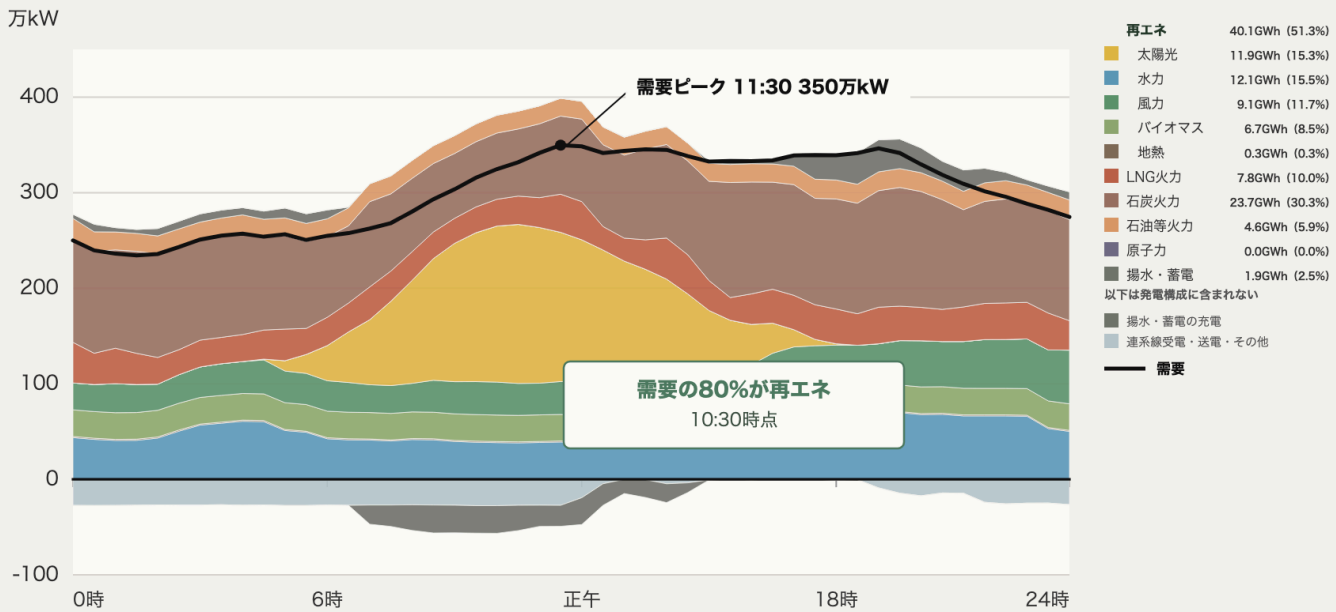
北海道エリア

再エネ

40.1GWh

(発電電力量ベース51.3%)

北海道エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.2GWh

需要ピーク

11:30、350万kW

連系線・その他

4.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク166万kW、風力ピーク56万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.7%だった。



2026年8月11日の供給実績

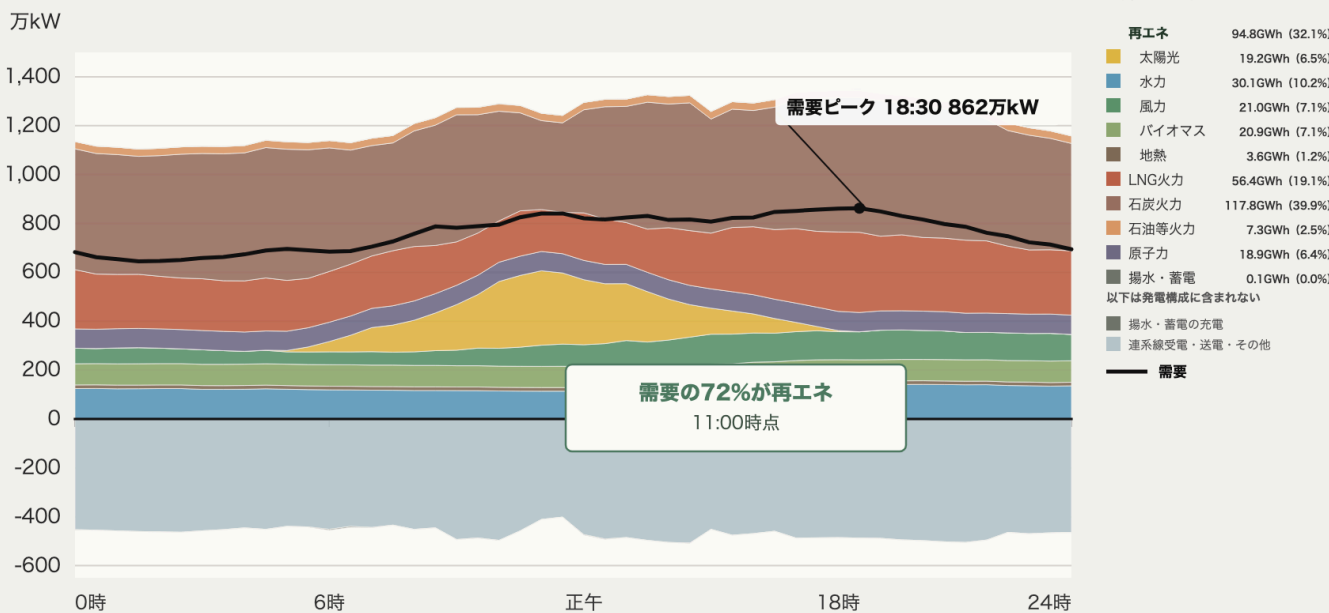
東北エリア

再エネ

94.8GWh

(発電電力量ベース32.1%)

東北エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

295.3GWh

需要ピーク

18:30、862万kW

連系線・その他

112.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク305万kW、風力ピーク122万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.2%だった。



2026年8月11日の供給実績

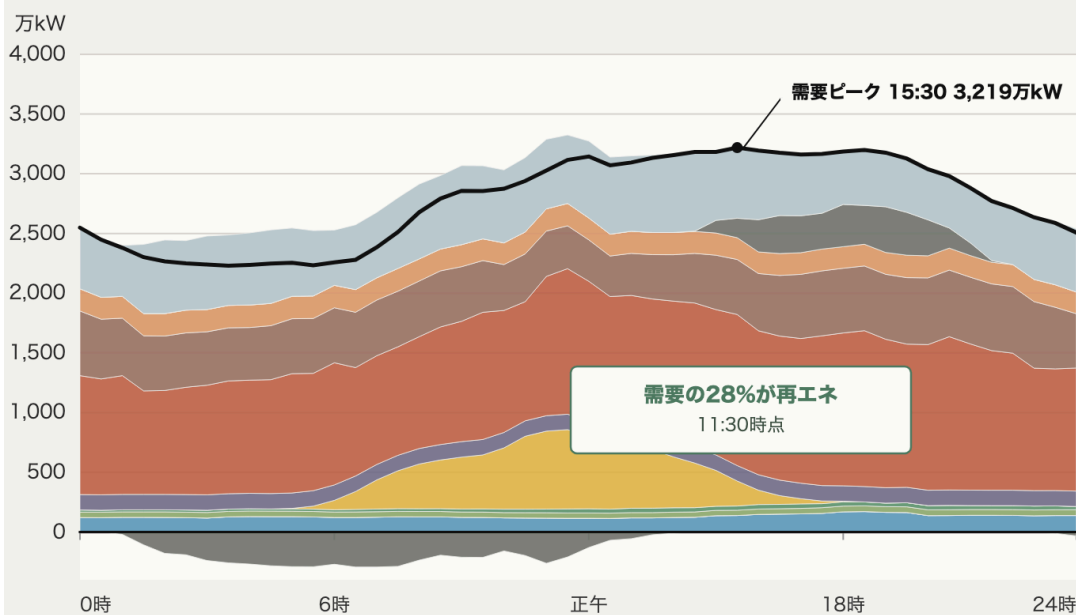
東京エリア

再エネ

92.6GWh

(発電電力量ベース16.6%)

東京エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 558GWh
(5,576万kWh)

再エネ	92.6GWh (16.6%)
太陽光	43.1GWh (7.7%)
水力	31.7GWh (5.7%)
風力	6.8GWh (1.2%)
バイオマス	11.0GWh (2.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	259.8GWh (46.6%)
石炭火力	112.5GWh (20.2%)
石油等火力	44.4GWh (8.0%)
原子力	31.0GWh (5.6%)
揚水・蓄電	17.4GWh (3.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

557.6GWh

需要ピーク

15:30、3,219万kW

連系線・その他

133.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

26.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク664万kW、風力ピーク38万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.9%だった。



2026年8月11日の供給実績

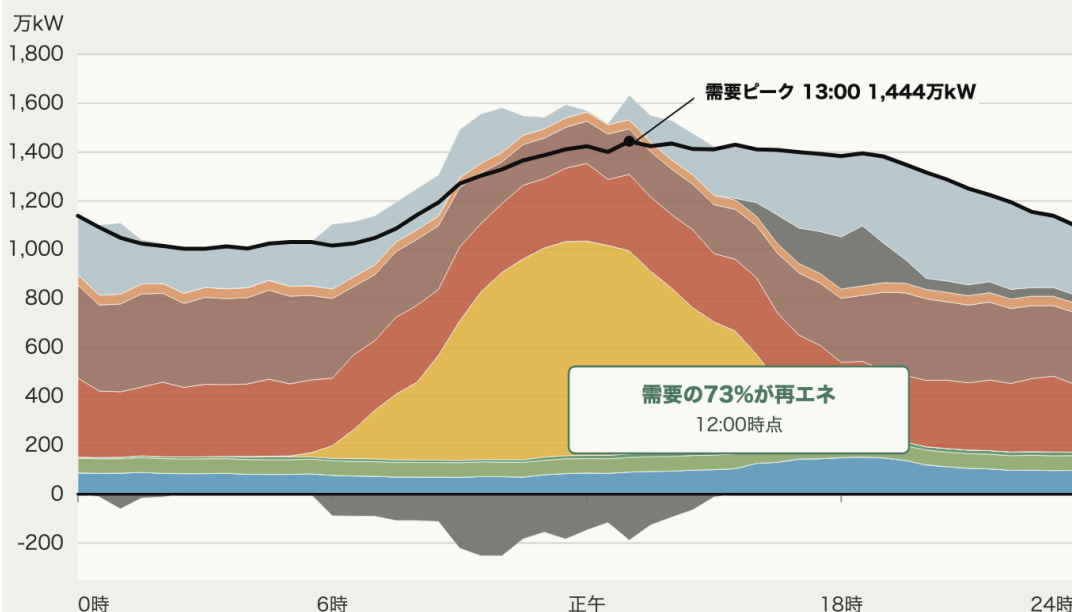
中部エリア

再エネ

102.7GWh

(発電電力量ベース40.1%)

中部エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

256.5GWh

需要ピーク

13:00、1,444万kW

連系線・その他

53.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

13.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク877万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.3%だった。



2026年8月11日の供給実績

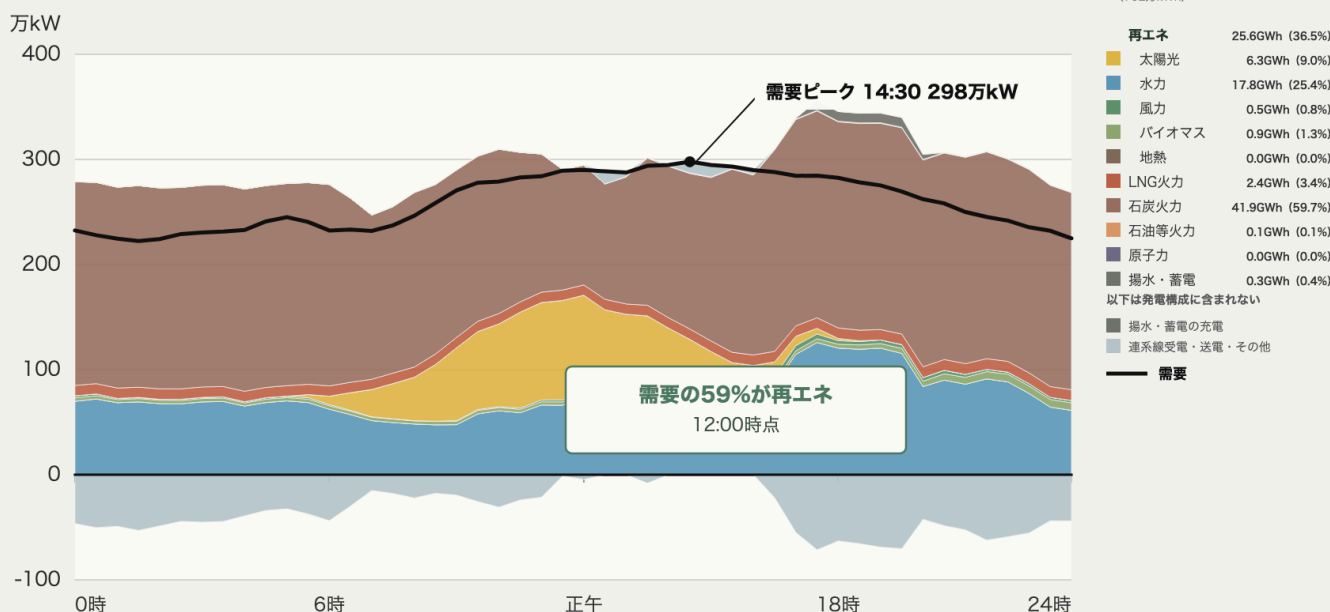
北陸エリア

再エネ

25.6GWh

(発電電力量ベース36.5%)

北陸エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

70.2GWh

需要ピーク

14:30、298万kW

連系線・その他

8.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク95万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。



2026年8月11日の供給実績

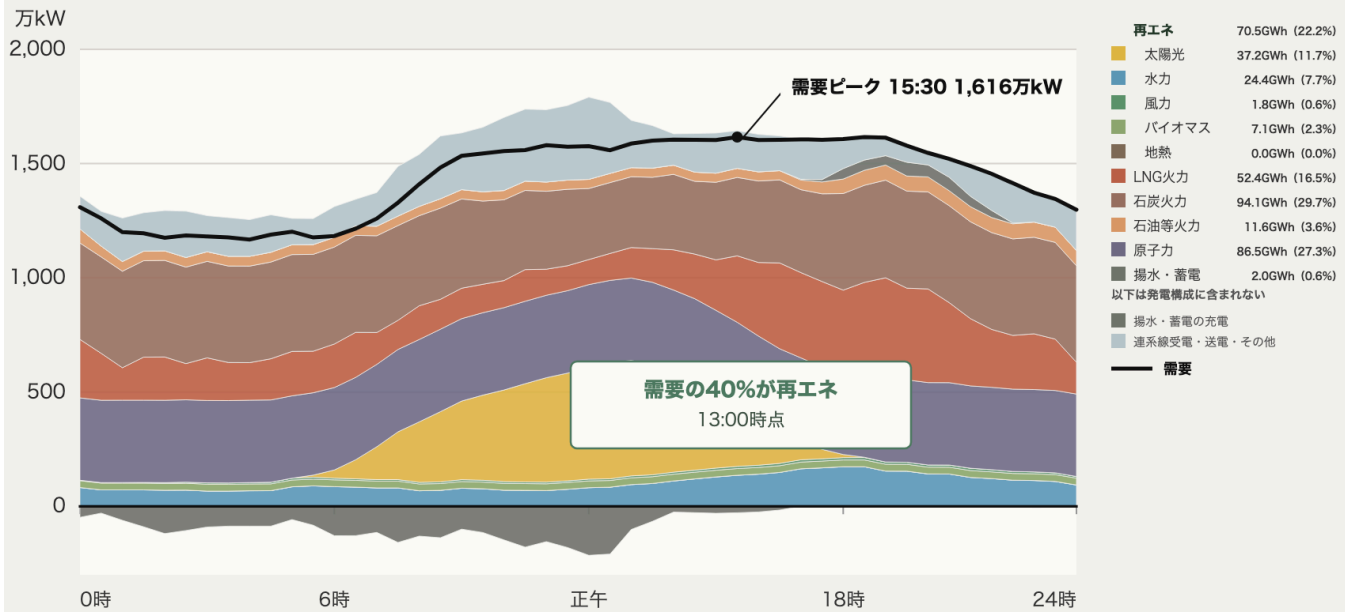
関西エリア

再エネ

70.5GWh

(発電電力量ベース22.2%)

関西エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

317.0GWh

需要ピーク

15:30、1,616万kW

連系線・その他

43.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク508万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.3%だった。



2026年8月11日の供給実績

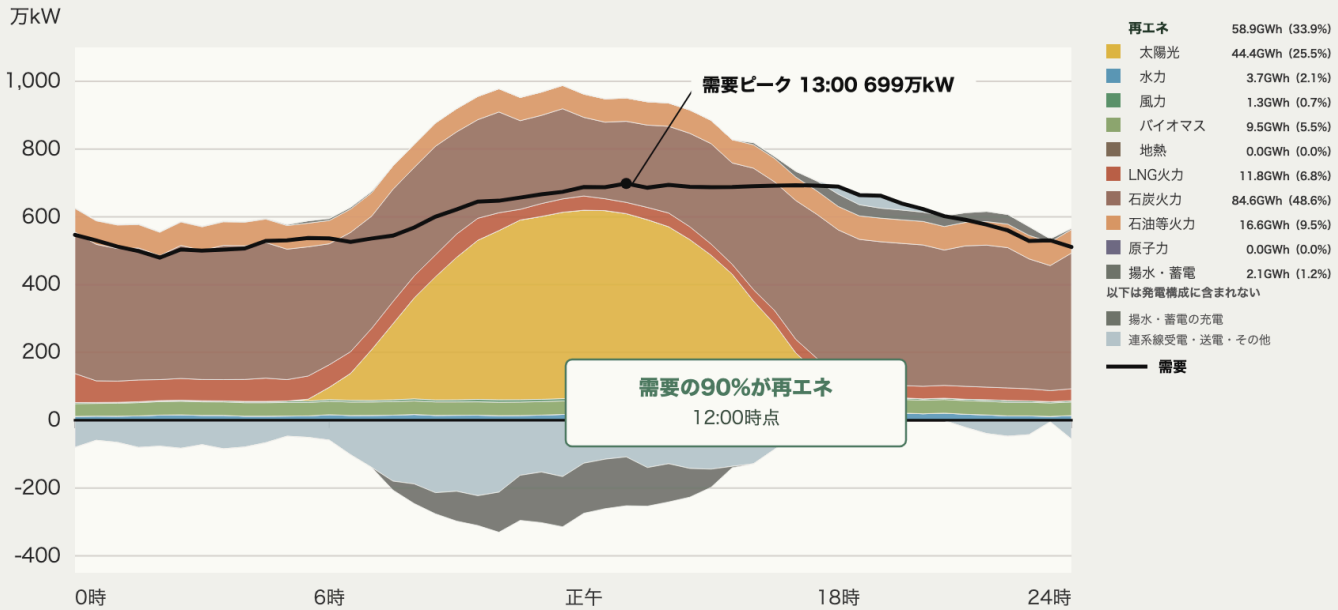
中国エリア

再エネ

59.0GWh

(発電電力量ベース33.9%)

中国エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

174.0GWh

需要ピーク

13:00、699万kW

連系線・その他

21.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

8.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク556万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.1%だった。



2026年8月11日の供給実績

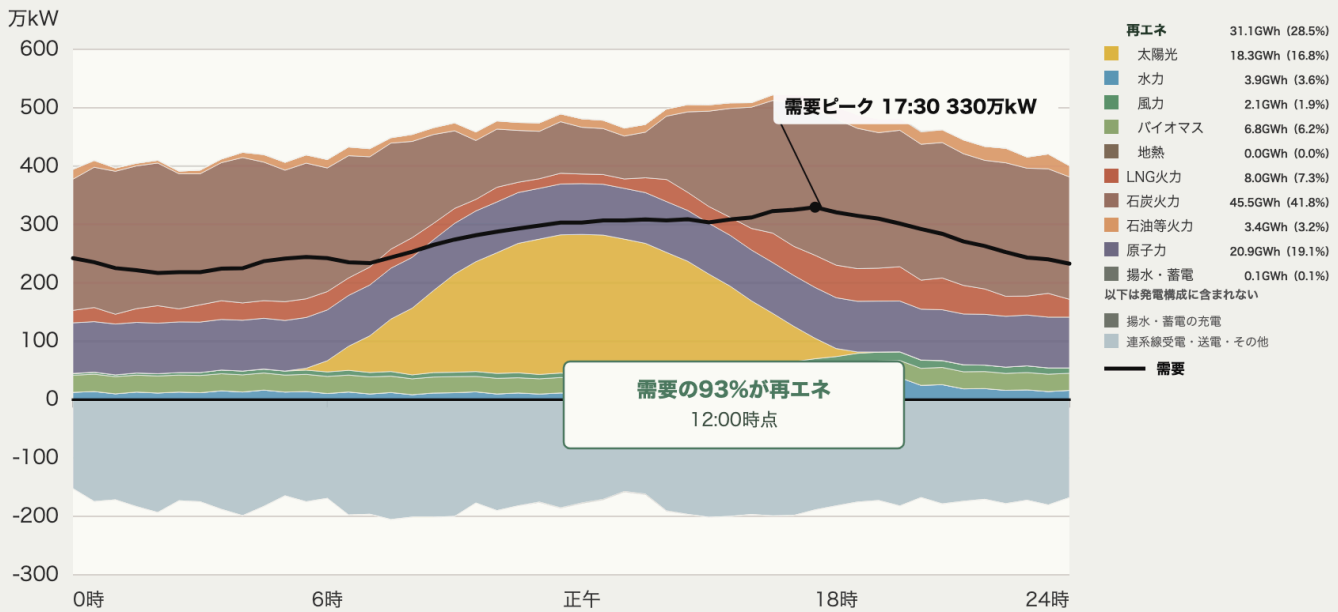
四国エリア

再エネ

31.1GWh

(発電電力量ベース28.5%)

四国エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

108.9GWh

需要ピーク

17:30、330万kW

連系線・その他

43.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク239万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は93.3%だった。



2026年8月11日の供給実績

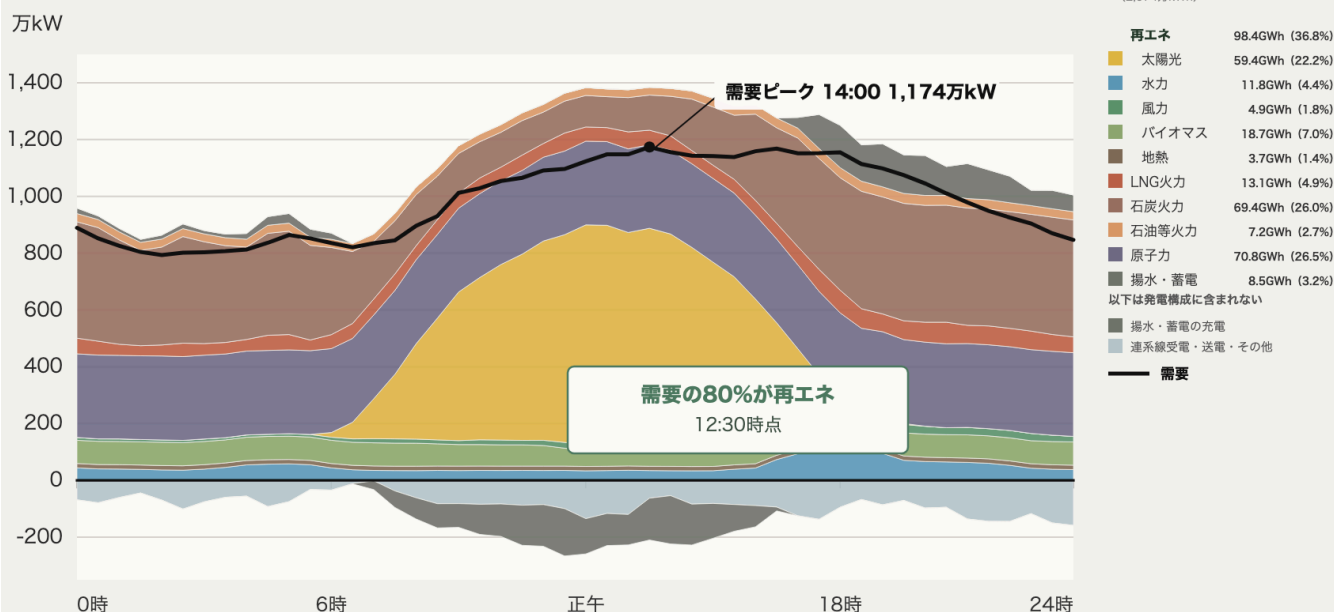
九州エリア

再エネ

98.4GWh

(発電電力量ベース36.8%)

九州エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

267.4GWh

需要ピーク

14:00、1,174万kW

連系線・その他

20.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

10.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク774万kW、風力ピーク35万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.1%だった。



2026年8月11日の供給実績

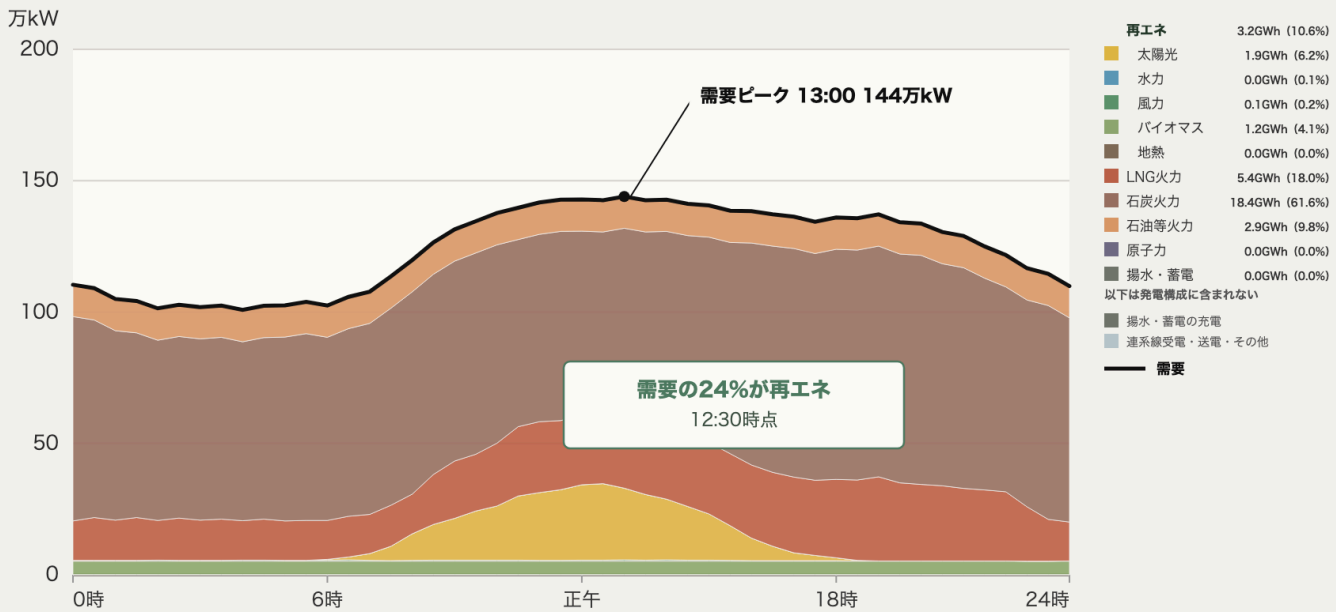
沖縄エリア

再エネ

3.2GWh

(発電電力量ベース10.6%)

沖縄エリア 2026年8月11日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.8GWh

需要ピーク

13:00、144万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.3%だった。